



2011年3月期 決算説明会



2011年5月16日

証券コード：1332

お問合せ先：

総務広報部広報課 03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

日本水産株式会社

Global Links & Local Links 2011 (2011年3月31日現在)



前期比較

新規連結
持分法から連結へ変更

黒字：連結子会社 (計 65社) 青字：持分法適用会社 (計 40社)

	漁業	養殖	加工 水産・食品	商事・卸	物流	医薬その他
日本	共和水産	黒瀬水産 中谷水産	日本クッカーリー モガミフーズ 博多まるきた水産 日豊食品工業 デルマール ハチカン クニヒロ 金子食品 笹谷商店 十味惣 東京キタイチ	横浜通商 クラハシ 広島水産 大水 丸魚水産 ケイ低温フーズ ハウスイ 水産流通	日水物流 キャリアネット 北海道日水	日水製薬 日本海洋事業 ニッスイマリン工業 北海道ファインケミカル
北米	UniSea Bering Sea Partners Glacier Fish Company		Gorton's King & Prince	F.W.Bryce	新規連結会社となった年月 博多まるきた水産 2009年12月 Netuno 2010年5月 デルマール、Thai Delmar 2010年7月 Nordic Seafood 2010年8月	
南米	PESPASA PESANTAR DOSA (EMDEPES/FRIOSUR)	Salmones Antartica Netuno International		Nordsee		
欧州			Cite Marine	Nordic Seafood Europacifico		
アジア オセアニア	I.M.P. W.I.F. Sealord	Nissui Indonesia	NIGICO Nissui Thailand Thai Delmar 山東山孚日水 大明食品	Nissui(S'pore)	TN Fine Chemicals	

2011年3月期 決算の概要(全体)

2011年3月期

連結損益計算書(対前年比)



(単位:億円)

	'11/3 売上比	'10/3 売上比	増減	増減率
売上高	4,942	4,815	127	
売上総利益	1,129 22.9%	1,061 22.0%	68	6.4%
販売費・一般管理費	1,049	999	49	
営業利益	80 1.6%	62 1.3%	18	29.9%
営業外収益	40	40	0	
営業外費用	58 ※	41	17	
経常利益	62 1.3%	61 1.3%	1	1.6%
特別利益	9	0	9	
特別損失	63 ※	21	41	
税金等調整前当期純利益(損失▲)	9 0.2%	40 0.8%	▲31	▲76.9%
法人税、住民税及び事業税	28	28	0	
法人税等調整額	▲20	0	▲20	
少数株主利益	11	10	0	
当期純利益(損失▲)	▲9 ▲0.2%	0 0.0%	▲9	-

※主な営業外費用: 為替差損 14億円(内、ニッセイ個別 11億円)

※主な特別損失: 災害による損失 49億円

震災に係わる特別損失の計上について

(単位:億円)

	連結計	ニッスイ個別	連結子会社
固定資産に対する被害	26	19	6
たな卸資産に対する被害	14	13	0
その他の特別損失	9	8	1
計	49	40	8

【人的被害】従業員及びその家族の死者・行方不明者 54名

ニッスイ:従業員5名、家族44名 グループ会社:従業員被害無し、家族5名

2011年3月期

連結貸借対照表(対前年比)



(単位:億円)

流動資産	負債
1,909	3,289
(+203)	(+245)
うち棚卸資産	うち借入金
817	2,473
(+141)	(+256)
固定資産	純資産
2,087	708
(▲45)	(▲87)
総資産	うち自己資本
3,997	504
(+157)	(▲111)

主な増減要因

流動資産	+203	現金及び預金	▲8
		受取手形及び売掛金	45
		棚卸資産	141
固定資産	▲45	有形固定資産	3
		無形固定資産	28
		投資その他	▲77
負債	+245	借入金	256
		未払費用	▲3
純資産	▲87	利益剰余金	▲52
		その他の包括利益累計額	▲58
		少数株主持分	23

※総資産増加の内、新規連結子会社の影響は次の通り。
NORDIC SEAFOOD 112億円、NETUNO 70億円、デルマール 54億円
計236億円

※その他の包括利益累計額の増減の主な内訳
・主にNZドル、アルゼンチンペソ、ユーロが対円下落したことによる
為替換算調整勘定 ▲40億円
・その他有価証券評価差額金 ▲16億円

※()内の数字は対前年比増減

2011年3月期

連結キャッシュフロー計算書（対前年比）



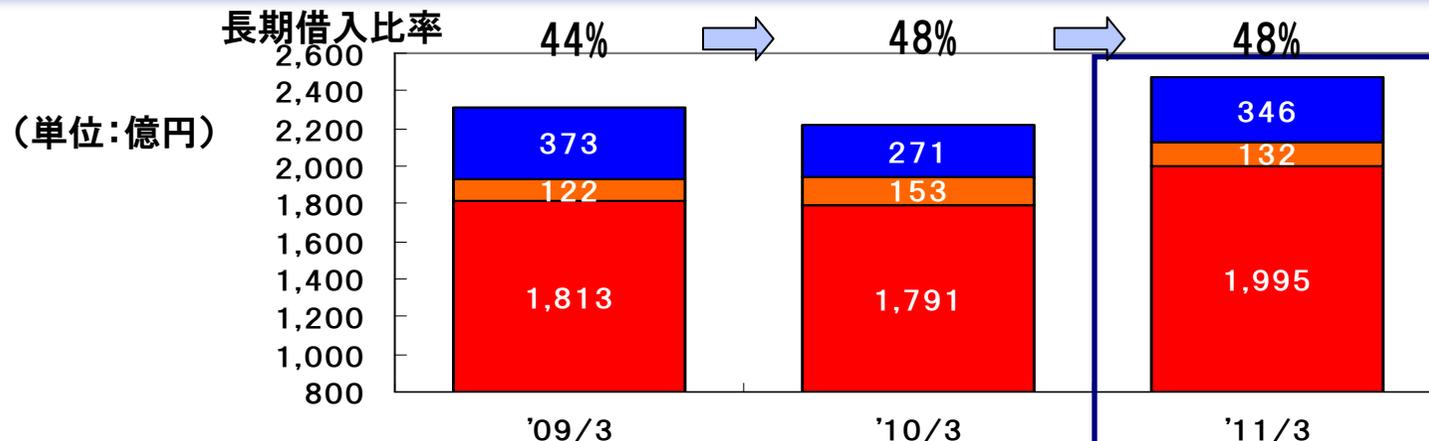
（単位:億円）

	'11/3	'10/3	増減	主な内訳	'11/3	'10/3	増減
営業活動 によるCF	55	335	▲279	税前当期純利益	9	40	▲31
				減価償却費	166	178	▲11
				退職給付引当金の減少	▲19	▲7	▲11
				災害損失による影響額	49	-	49
				運転資本の増加額 ※	▲130	108	▲238
投資活動 によるCF	▲288	▲287	▲0	有形固定資産の取得による支出 ※	▲167	▲174	7
				無形固定資産の取得による支出	▲26	▲21	▲4
				投資有価証券の取得による支出	▲11	▲35	24
				連結範囲変更を伴う株式取得による支出 ※	▲60	-	▲60
				短期貸付金の増減額	▲47	▲17	▲30
				長期貸付けによる支出	-	▲67	67
財務活動 によるCF	200	▲156	357	短期借入金の増減額	168	▲282	451
				長期借入金の増減額	75	172	▲97

※運転資本の増加:たな卸資産の増加によるキャッシュフローの減少 ▲122億円

※有形固定資産の取得:ニッスイ個別 東京イノベーションセンター建設 等

※株式取得:デルマール、NETUNO、NORDIC SEAFOOD



前年比増減

- +75 ■ 海外関係会社
- ▲21 ■ 国内関係会社
- +203 ■ ニッスイ個別

前年比増減

	'09/3	'10/3	'11/3	前年比増減
借入金合計	2,308	2,216	2,473	+256
短期借入金	1,293	1,146	1,285	+139
長期借入金	1,014	1,069	1,187	+117
短借平均利率	1.7%	1.4%	1.2%	▲0.2%
長借平均利率	2.0%	1.8%	1.7%	▲0.1%
純金利負担	24.8	19.7	19.9	+0.2
対営業利益純金利負担率	78.6%	31.6%	24.7%	▲7.0%
支払利息	40.9	35.8	35.9	+0.1
受取利息	5.1	5.9	5.6	▲0.3
受取配当金	10.9	10.2	10.3	+0.1

※ 短期借入金増加の主な内訳:ニッスイ個別 +140、NORDIC SEAFOOD +44

※ 長期借入金増加の主な内訳:ニッスイ個別 +63

2011年3月期

セグメントマトリックス売上高(対前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,728 (97)	251 (▲24)	277 (24)	113 (▲2)	169 (105)	2,541 (201)	▲655 (▲87)	1,885 (113)
	1,630	276	253	115	63	2,339	▲568	1,771
食品事業	2,794 (112)	416 (▲41)		30 (0)	86 (▲7)	3,328 (64)	▲784 (▲34)	2,543 (29)
	2,682	457		30	93	3,263	▲749	2,514
ファイン事業	264 (14)			1 (1)		266 (15)	▲13 (1)	252 (16)
	250			-		250	▲14	235
物流事業	186 (3)					186 (3)	▲69 (▲2)	117 (1)
	182					182	▲66	116
その他事業	260 (8)					260 (8)	▲116 (▲42)	143 (▲34)
	252					252	▲74	178
仮計	5,234 (236)	668 (▲66)	277 (24)	145 (▲0)	255 (98)	6,582 (293)		
	4,998	734	253	146	157	6,289		
連結調整	▲1,270 (▲159)	▲114 (3)	▲172 (▲11)	▲76 (5)	▲5 (▲4)		▲1,639 (▲166)	
	▲1,111	▲117	▲161	▲81	▲1		▲1,473	
連結計	3,963 (77)	554 (▲63)	104 (13)	69 (5)	250 (94)			4,942 (127)
	3,886	617	91	64	155			4,815

【主な増収要因】

水産: 日本:ニッスイ個別、南米:NETUNO、ヨーロッパ:NORDIC SEAFOOD

食品: 日本:デルマール、ニッスイ個別

【主な減収要因】

水産: 北米:ニッスイUSA、食品: 北米:King&Prince、Gorton's

※円高による売上高への影響額(試算)

連結計 ▲147億円

※上段は11/3期実績、下段は10/3期実績、右肩括弧内は増減を表わす。 ※新規連結会社3社の売上高(連結調整前)

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

Nordic Seafood、Netuno、デルマール 計231億円⁹

2011年3月期

セグメントマトリックス営業利益(対前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	消去または全社	仮計	連結調整	連結計
水産事業	14 (21)	▲4 (▲4)	17 (4)	▲7 (4)	2 (4)		22 (31)	▲20 (▲6)	1 (24)
	▲7	0	12	▲12	▲1		▲8	▲14	▲23
食品事業	53 (▲16)	15 (9)		▲0 (▲0)	5 (1)		74 (▲6)	▲31 (4)	42 (▲2)
	70	6		0	3		80	▲35	45
ファイン事業	57 (7)			▲0 (▲0)			57 (7)	▲4 (▲2)	52 (5)
	50			▲0			49	▲2	47
物流事業	14 (▲1)						14 (▲1)	1 (0)	15 (▲1)
	16						16	1	17
その他事業	5 (▲2)						5 (▲2)	▲2 (▲1)	3 (▲3)
	8						8	▲1	7
消去または全社						▲79 (▲4)	▲79 (▲4)	43 (0)	▲35 (▲3)
						▲75	▲75	43	▲31
仮計	146 (8)	11 (4)	17 (4)	▲8 (4)	7 (5)	▲79 (▲4)	94 (23)		
	137	6	12	▲12	1	▲75	70		
連結調整	▲46 (▲4)	▲11 (▲1)	▲0 (0)	0 (0)	▲1 (▲1)	45 (2)		▲13 (▲5)	
	▲41	▲9	▲0	▲0	0	43		▲8	
連結計	99 (3)	0 (3)	17 (4)	▲7 (5)	6 (4)	▲34 (▲2)			80 (18)
	96	▲3	12	▲13	2	▲31			62

【主な増益要因】

水産: 日本:ニッスイ個別、南米:Salmones Antartica、食品: 北米: King&Prince

【主な減益要因】

水産: 北米:UniSea、南米:DOSAグループ、食品: 日本:ニッスイ個別

※上段は11/3期実績、下段は10/3期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん代償却費、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

(単位:億円)

2010年5月20日にご説明したポイント

結果

‘10/3期
実績

’11/3期
実績

ニッスイ個別
水産

▲12

38

18

6

ニッスイ個別
食品

63

▲3

▲20

42

ニッスイ個別
ファイン

36

11

3

39

北米
King&Prince

▲11

12

10

▲1

南米
SA+アルゼンチン2社

▲8

17

12

4

アジア
ニッスイインドネシア

▲10

4

3

▲6

67

10年3月期 62億円
に対する増益総額

18

10年3月期 62億円
に対する増益総額

※のれん代償却、たな卸資産の未実現利益等の連結調整はここでは加味していない。

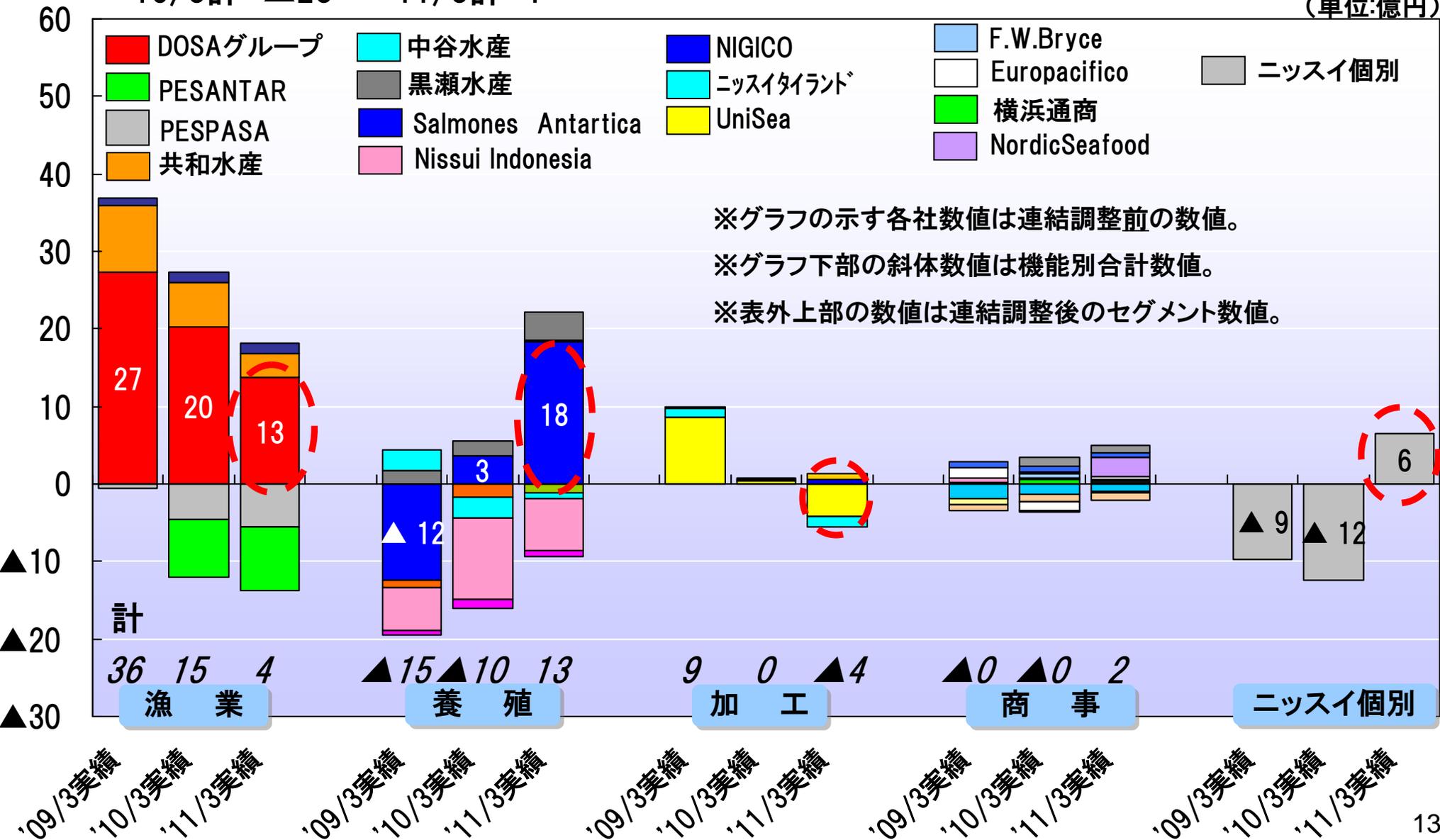
2011年3月期 水産事業

'10/3計 ▲23 '11/3計 1

(単位:億円)



※グラフの示す各社数値は連結調整前の数値。
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値。
 ※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。

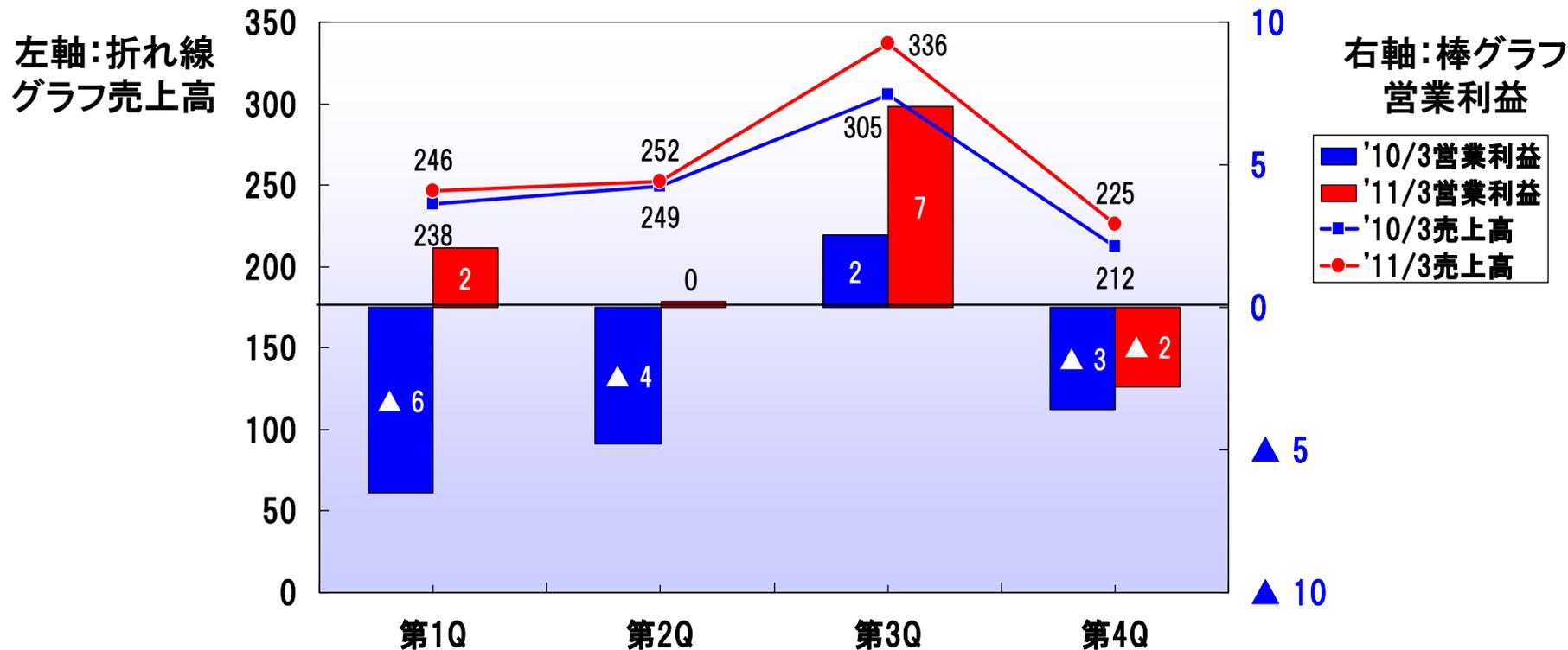




水産合計 (数量:千トン 金額:億円)

	売上高		営業利益
	数量	金額	金額
'11/03 実績	262	1,061	6
'10/03 実績	272	1,005	▲ 12

四半期別 売上高・営業利益(単位:億円)

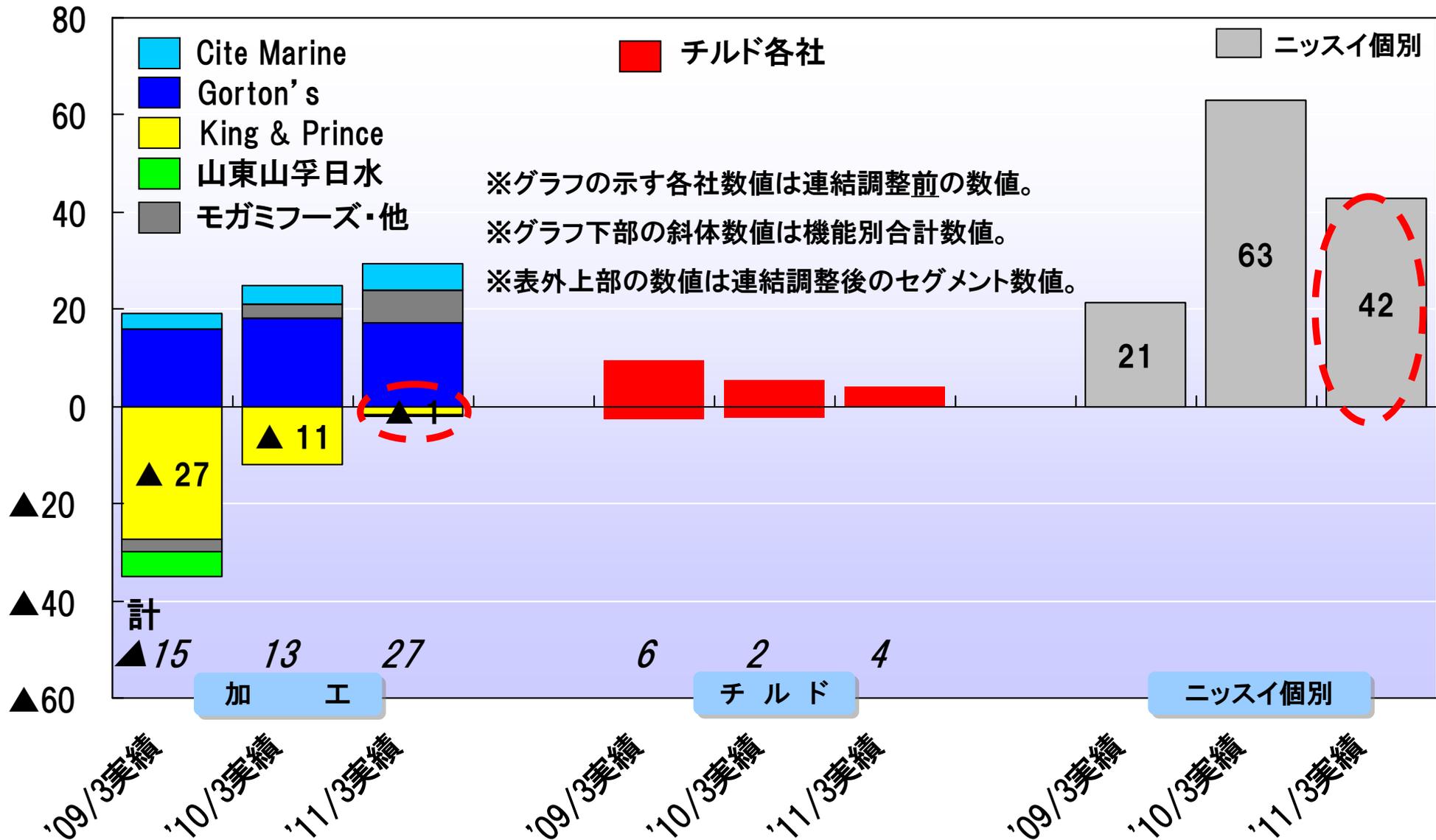


2011年3月期 食品事業



'10/3計 45 '11/3計 42

(単位:億円)

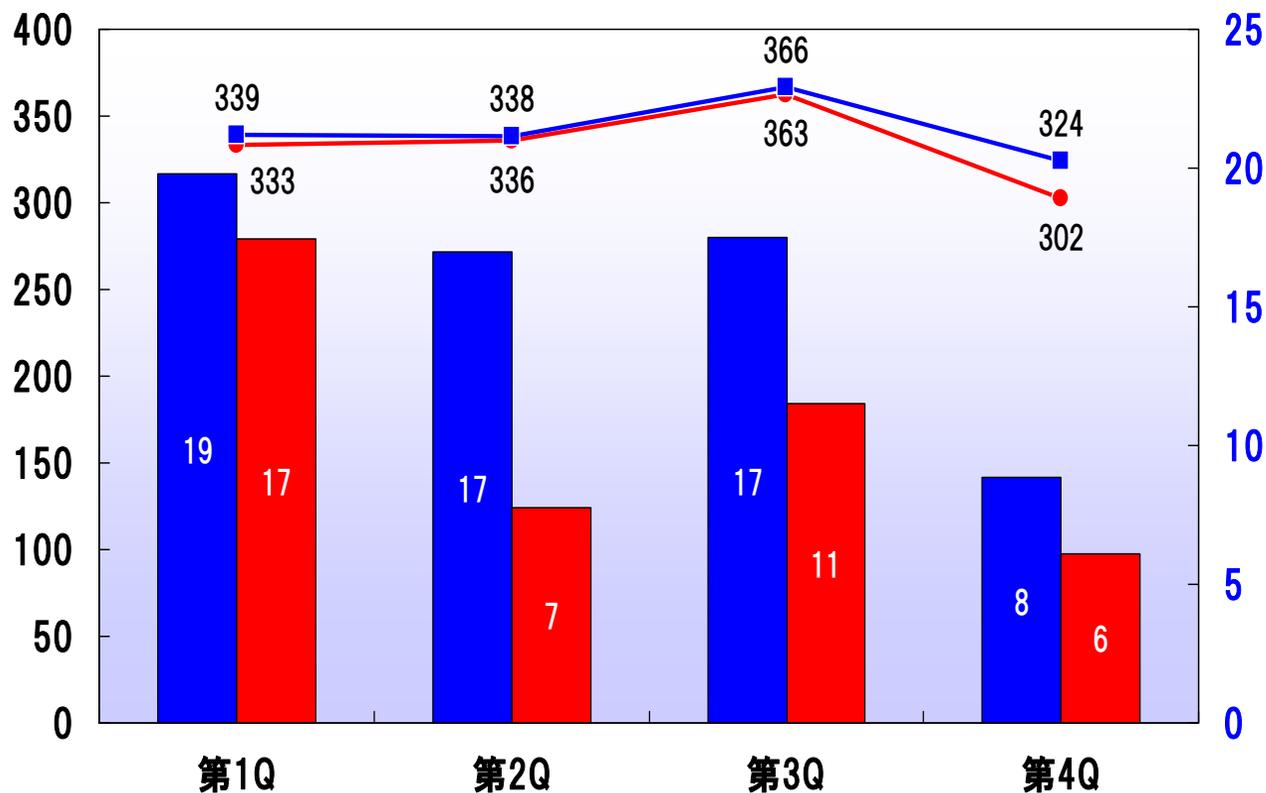


食品計

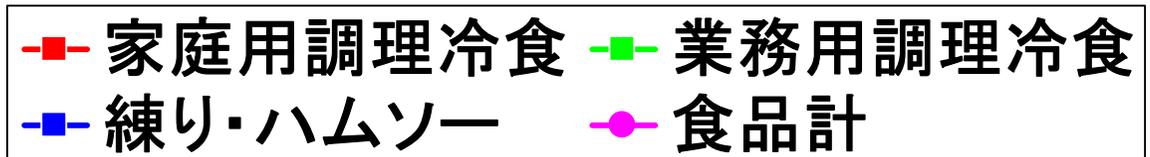
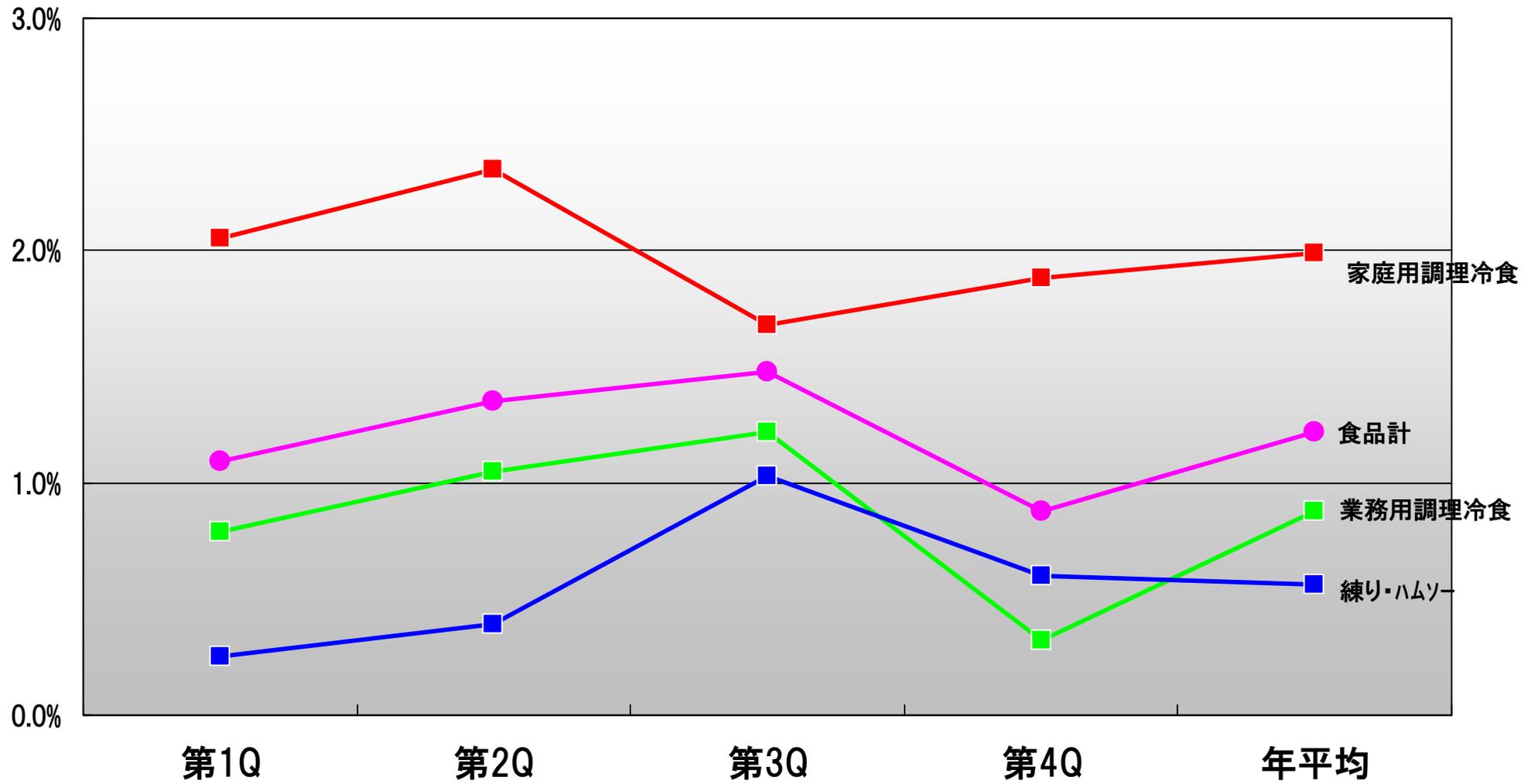
(単位:億円)

	売上高	営業利益
'11/03 実績	1,367	42
'10/03 実績	1,334	63

四半期別 売上高・営業利益(単位:億円)

左軸:折れ線
グラフ売上高右軸:棒グラフ
営業利益

■ '10/3 営業利益
■ '11/3 営業利益
● '10/3 売上高
■ '11/3 売上高

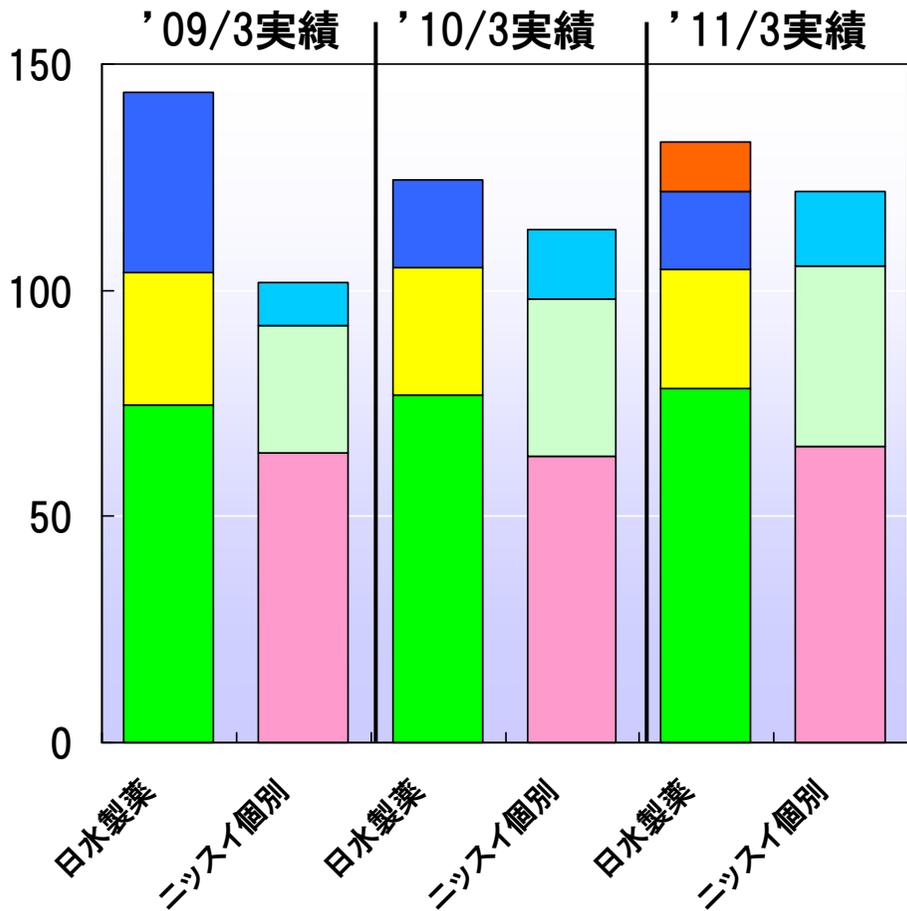


2011年3月期 ファインケミカル事業



売上高

(単位:億円)



日水製薬

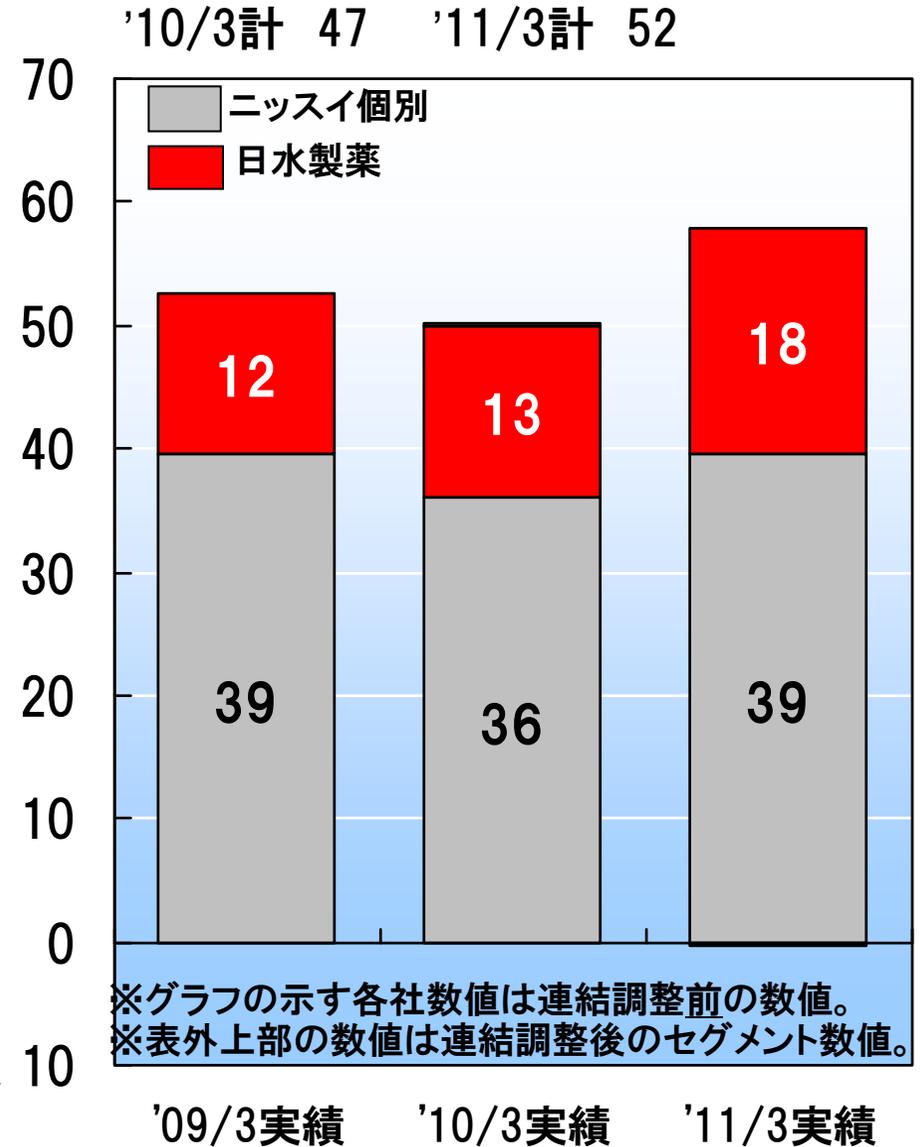
- 診断薬事業
- 医薬品
- 健康食品他
- 化粧品他

ニッスイ個別

- 医薬品原料
- 機能性原料
- 機能性食品

営業利益

(単位:億円)

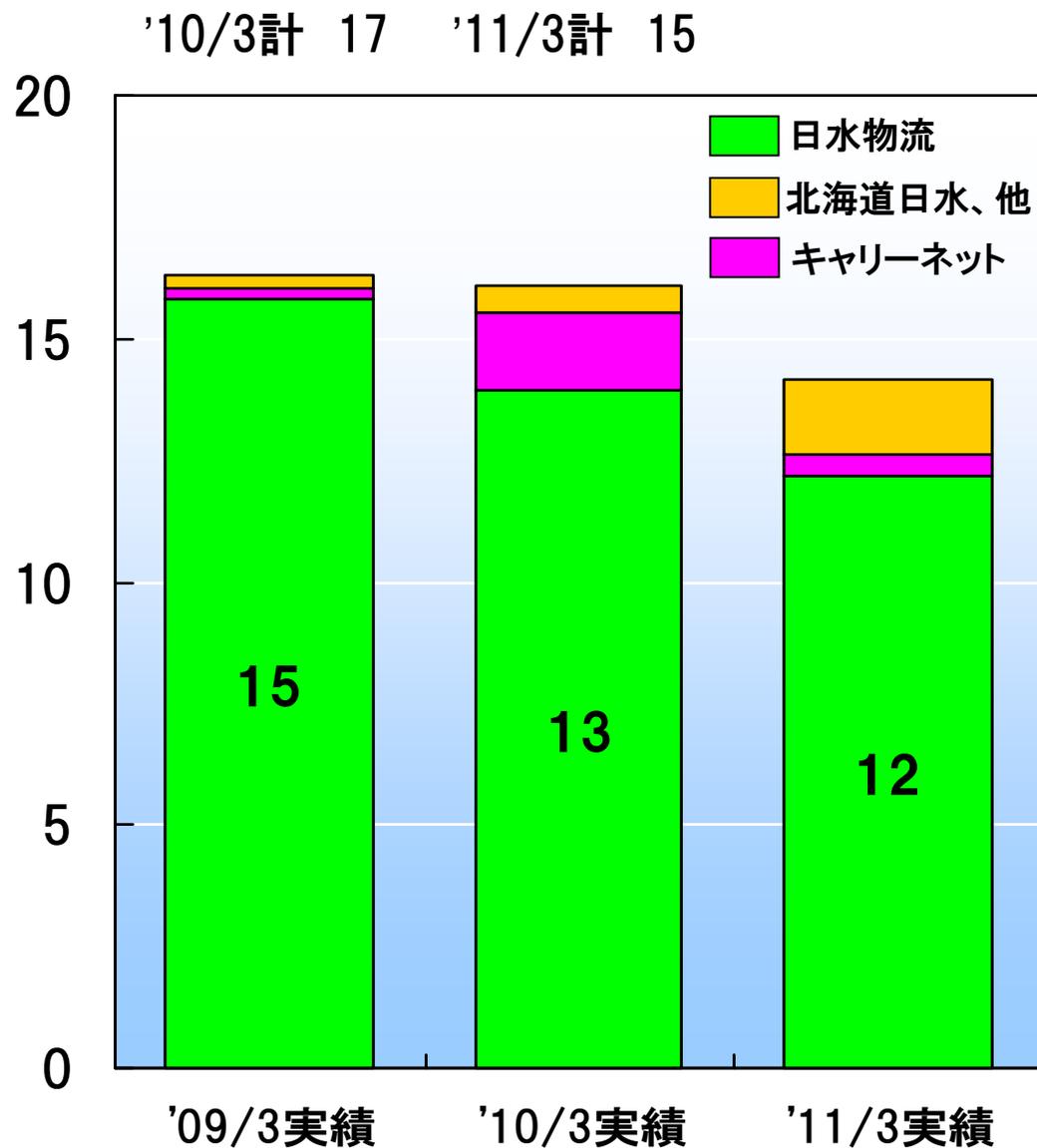


※グラフの示す各社数値は連結調整前の数値。
 ※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。



2011年3月期 物流事業

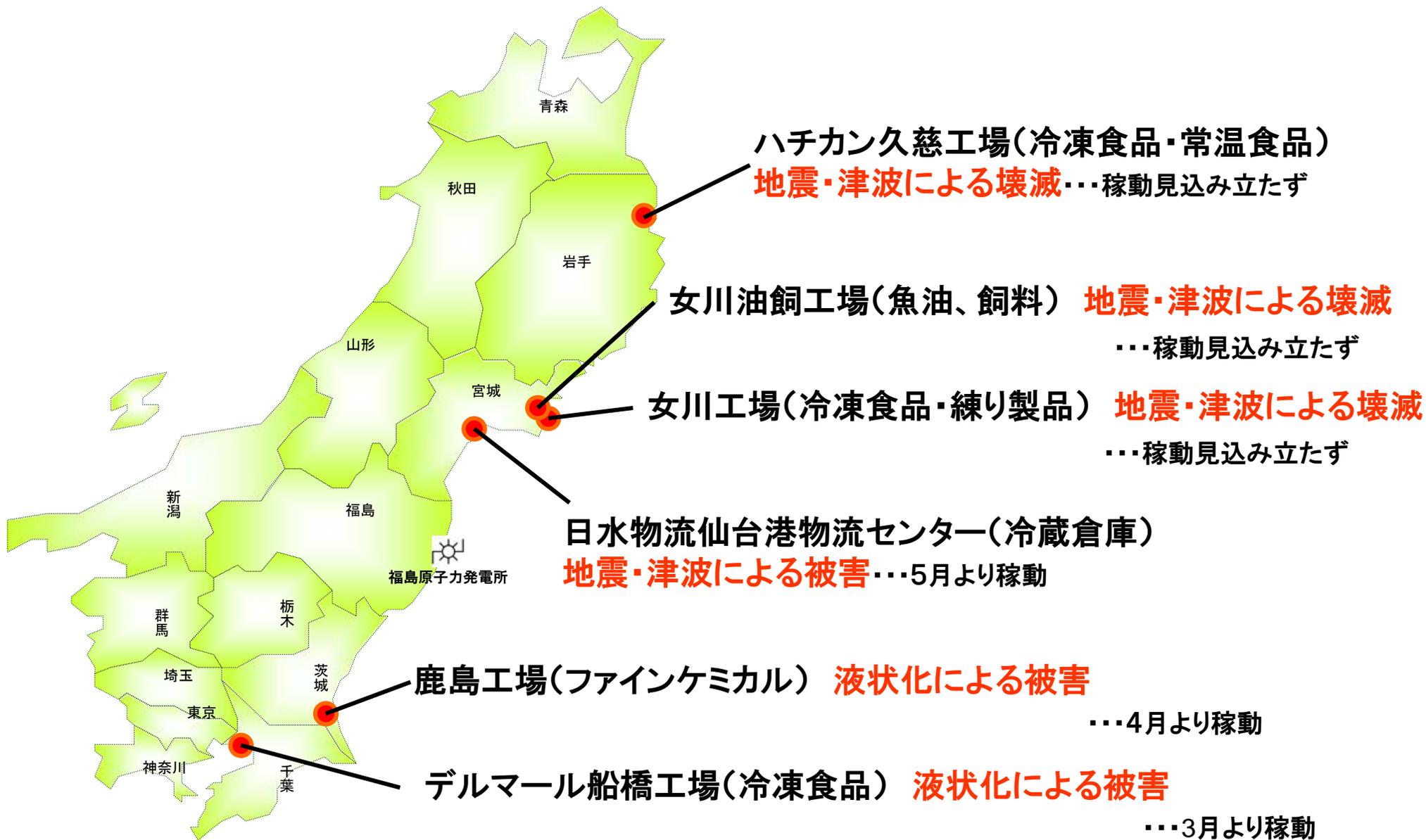
（単位:億円）



※グラフの示す各社数値は連結調整前の数値。
 ※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。

2012年3月期 計画を立てる上での 内部・外部環境について

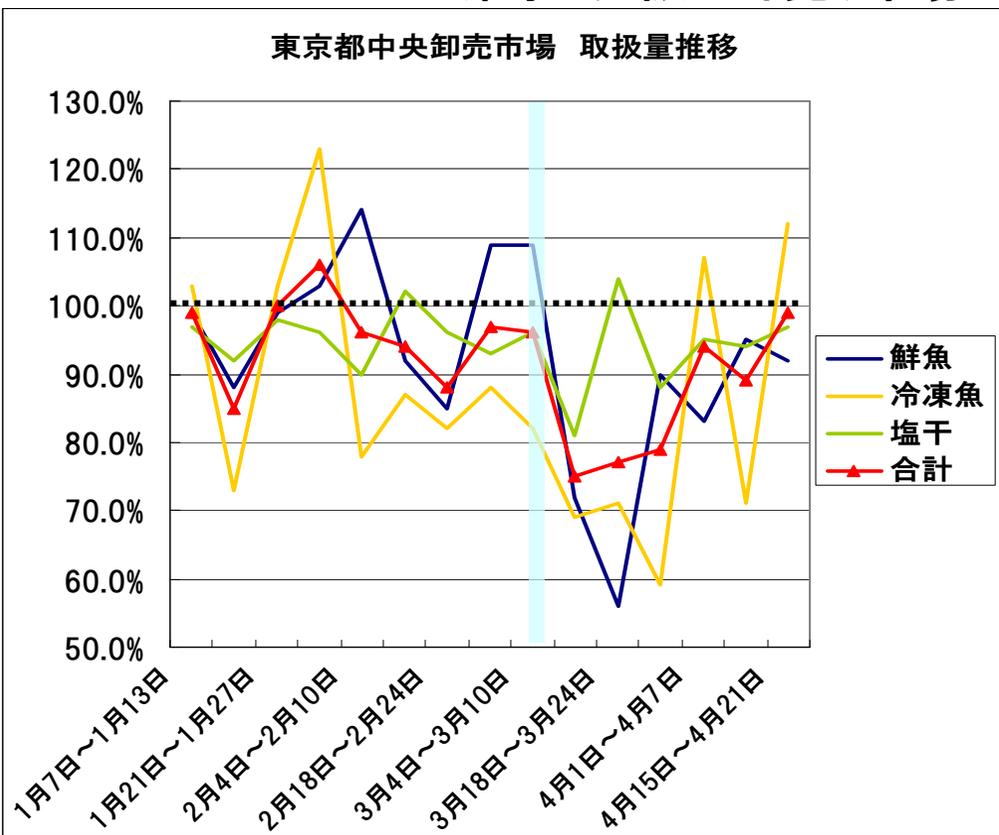
震災によるニッスイの被害拠点と稼動について



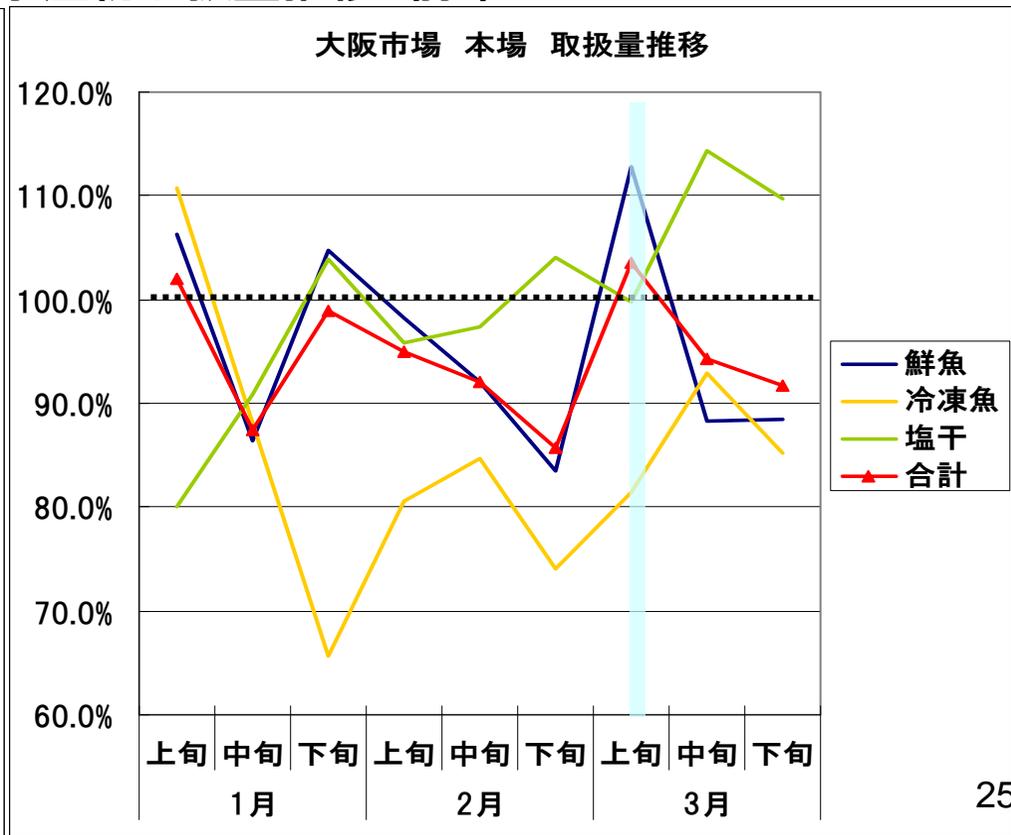
- ・直接被害・・・漁港319、漁船約2万隻、養殖施設、水産加工場、関連施設
*漁港漁船はプレジャーボート含む。
- ・間接的損失・・・飲食店・行楽施設等が活動の自粛より影響を受けている
- ・風評被害・・・放射能汚染水の海への放出などから魚介類の安全性が不安視される

東京と大阪の卸売り市場 水産物取扱量推移 前年比

東京都中央卸売市場 取扱量推移

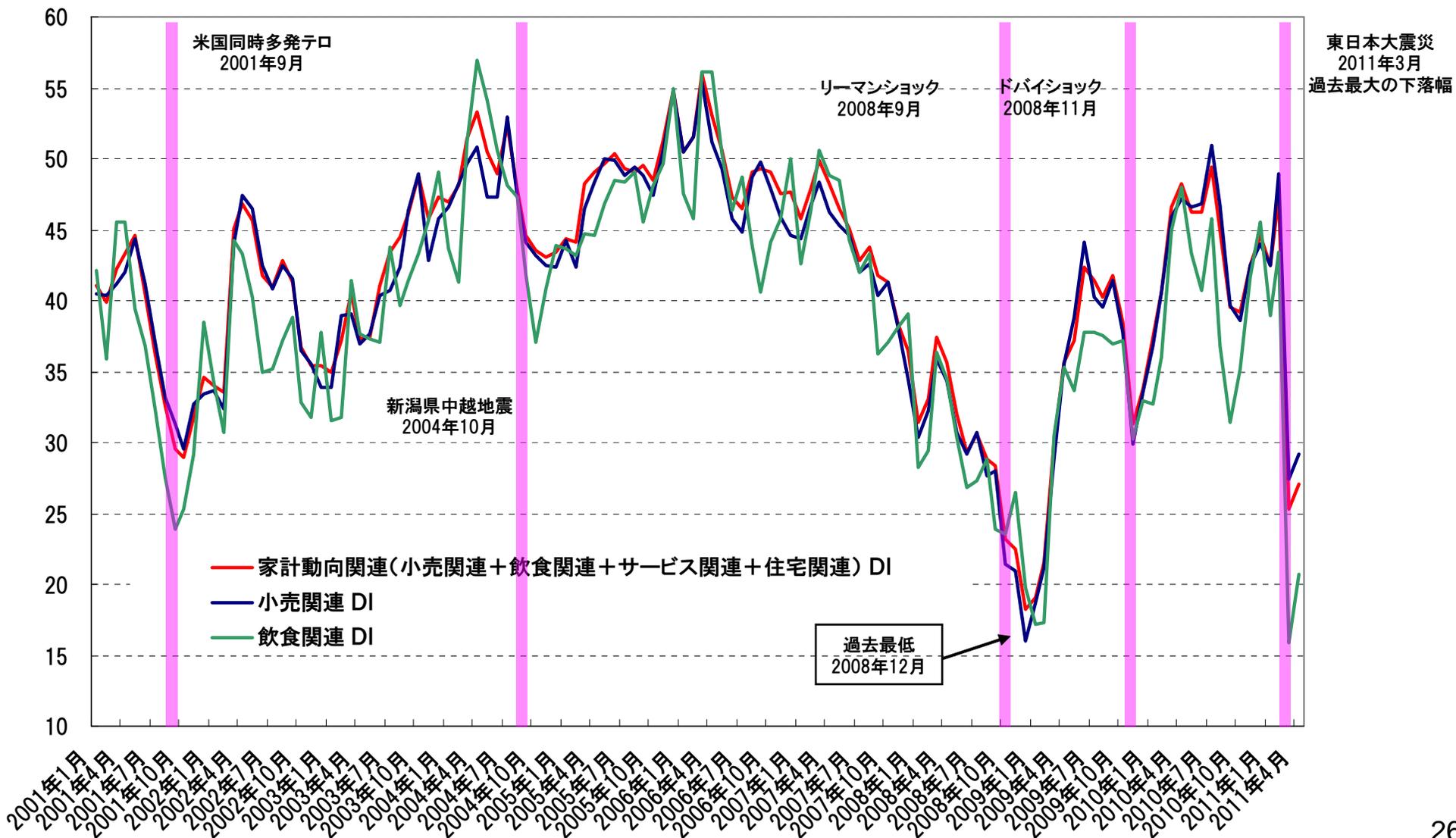


大阪市場 本場 取扱量推移



内閣府が公表している景気ウォッチャー調査の結果。

震災後のDIは過去最大の下落幅



Source: 内閣府 5月12日公表

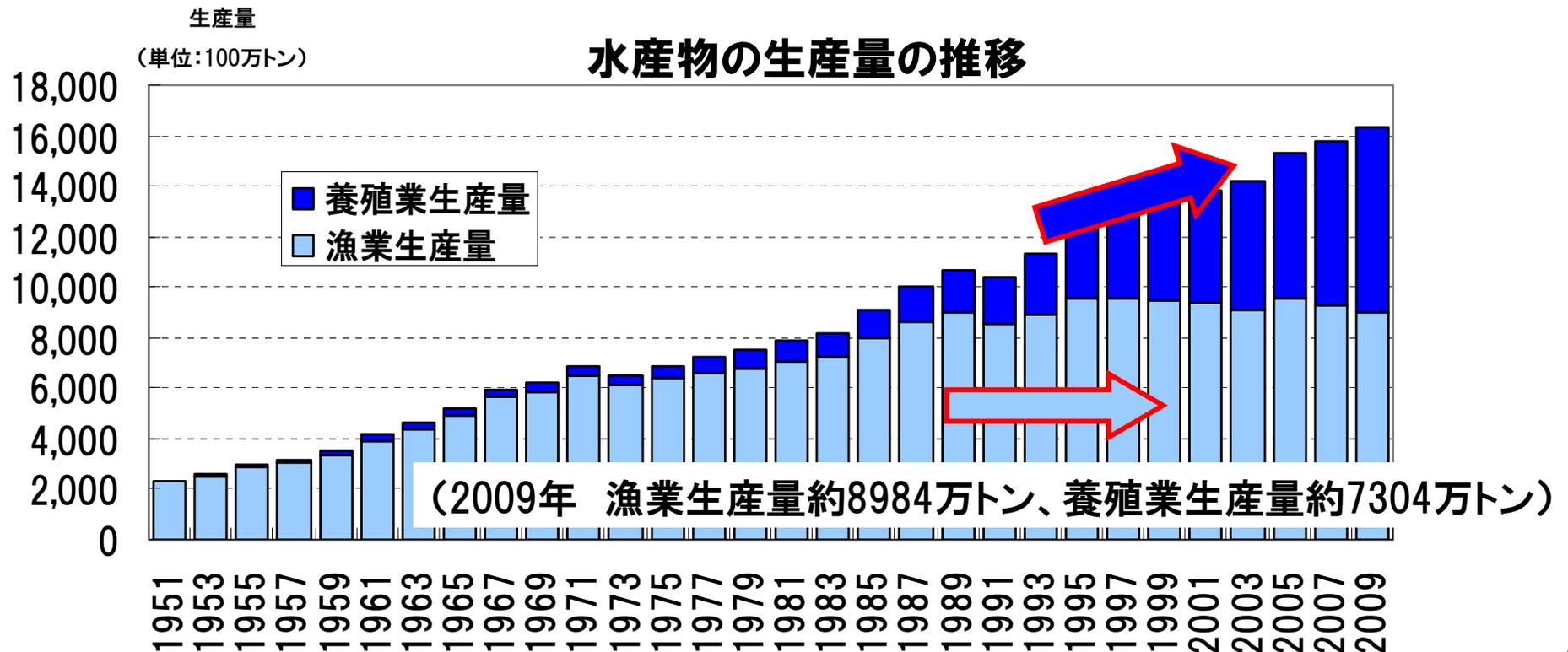
世界の主要な食料生産物の生産量と貿易量



単位:100万ト	1980年	1990年	2000年	2008年
畜肉類生産量	121.2	158.3	204.4	243.8
畜肉類輸入量	4.7	7.2	10.0	15.6
80年からの生産量の増加率	100%	131%	169%	201%
80年からの輸入量の増加率	100%	153%	212%	332%
穀物生産量	1,314.7	1,702.7	1,938.8	2,426.1
穀物輸入量	195.9	196.0	249.4	312.5
80年からの生産量の増加率	100%	130%	147%	185%
80年からの輸入量の増加率	100%	100%	127%	160%
野菜と果物生産量	628.0	816.5	1,220.6	1,511.8
野菜と果物輸入量	55.0	86.0	114.5	163.6
80年からの生産量の増加率	100%	130%	194%	241%
80年からの輸入量の増加率	100%	156%	208%	298%
水産物生産量	75.6	102.8	136.4	159.1
水産物貿易量	9.9	17.4	26.5	33.5
80年からの生産量の増加率	100%	136%	180%	211%
80年からの輸入量の増加率	100%	175%	267%	337%

(1) 水産物の特性

- ① 水産資源は適切な資源管理を行えば持続的に利用可能。
- ② 供給の過半を天然資源の採捕に頼っている。
- ③ 養殖が需要の伸びを支えている。



(2) 世界の水産物を取り巻く環境

① 水産資源をめぐる紛争は世界中で起きている。

世界の海は30年以上前からEEZとして沿岸国の主権の下に囲い込まれている。わずかに残った200海里外の公海も国際的な共同資源管理が行われる流れ。

② 環境保護団体、NGO/NPOの影響力。

③ 顧客の持続的漁業への要求が高まる。

④ 健康食としての魚食への期待が高まる。



(3)日本の水産物を取り巻く環境

①日本は世界の中で魚介類の年間輸入量第2位、年間消費量第2位の魚食大国

②日本は世界6位のEEZを持ち、かつ好漁場を持つ資源大国

③日本人の魚離れ

最も魚介類消費量の多かった1988年の1人当りの年間72.5kgから、2008年には1人当りの年間消費量は56kgになっている。

④世界の貿易市場において「日本の買い負け」

世界の魚介類の消費意欲は日本の水産物の輸入金額を押し上げ、また日本が手に入れることが困難になるなど「買い負け」現象は確実に起っている。

グローバルリンクスのサステナビリティに関する方針を決定

1. 5つの原則

- ・全てのグループ会社が共通のコミットメントを持つ
- ・科学調査に基づき、それを共有する
- ・自らの仕事に変革をもたらす
- ・透明性を重視する
- ・ステークホルダーと共有をする

2. 現実に対する柔軟性を持ちながら実行する

3. グローバルリンクスにサステナビリティボードを新設する そのもとにサステナビリティオフィサーを任命する

新TGL計画の最終年として

- ①震災のダメージを梃子に事業体質を強化する
- ②不振事業・会社整理
- ③個別の損益分岐点を3年間で2ポイント下げる
- ④グローバルリンクス・ローカルリンクスとの協働で成長を実現し高揚感をつくる
- ⑤R&D機能の強化



リスクマネージメントの見直し

事業拠点のリスクアセスメント

事業拠点と生産品の見直し

原材料の在庫量についての適正值の見直し

2012年3月期 見通しについて

【連結】 (億円、%)	11年3月期 実績	売上高比	12年3月期 計画	売上高比	増減額・前年比	
売上高	4,942	-	5,250	-	307	6.2%
営業利益	80	1.6%	120	2.3%	39	
経常利益	62	1.3%	110	2.1%	47	
当期純利益	▲9	▲0.2%	55	1.0%	64	-

※為替レート 12年3月期計画 1USD=83円

■ 配当予想

2012年3月期 1株当たり配当金 年間10円
 中間期末 5.00円 (前年 5.00円) 期末 5.00円 (前年 5.00円)

(単位:億円)

【事業別】

	11年3月期		12年3月期計画		前期比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
水産事業	1,885	1	2,150	45	264	43
食品事業	2,543	42	2,550	31	6	▲ 11
ファイン事業	252	52	260	66	7	13
物流事業	117	15	120	17	2	1
その他事業	143	3	170	4	26	0
計	4,942	116	5,250	163	307	46
消去又は全社	-	▲ 35	-	▲ 43	-	▲ 7
合計	4,942	80	5,250	120	307	39

【所在地別】

	11年3月期		12年3月期計画		前期比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	3,963	99	3,980	123	16	23
北米	554	0	580	19	25	18
南米	104	17	180	17	75	▲ 0
アジア	69	▲ 7	80	▲ 1	10	6
ヨーロッパ	250	6	430	5	179	▲ 1
計	4,942	114	5,250	163	307	48
消去又は全社	-	▲ 34	-	▲ 43	-	▲ 8
合計	4,942	80	5,250	120	307	39

(単位:億円)

	'11/3期 実績	'12/3期 増減額	ポイント	'12/3期 計画
日本の水産事業 ニッスイ個別、他	14	18	営業スタイルの変革	33
北米の水産事業 UniSea、他	▲4	11	漁獲枠の増加	7
日本の食品事業 ニッスイ個別、他	53	▲3	原材料価格の上昇 販売競争の激化 震災の影響	50
日本のファイン事業 ニッスイ個別、日水製薬	57	10	工場損益の改善	68
その他含む合計	80	39		120

※のれん代償却、たな卸資産の未実現利益等の連結調整はここでは加味していない。

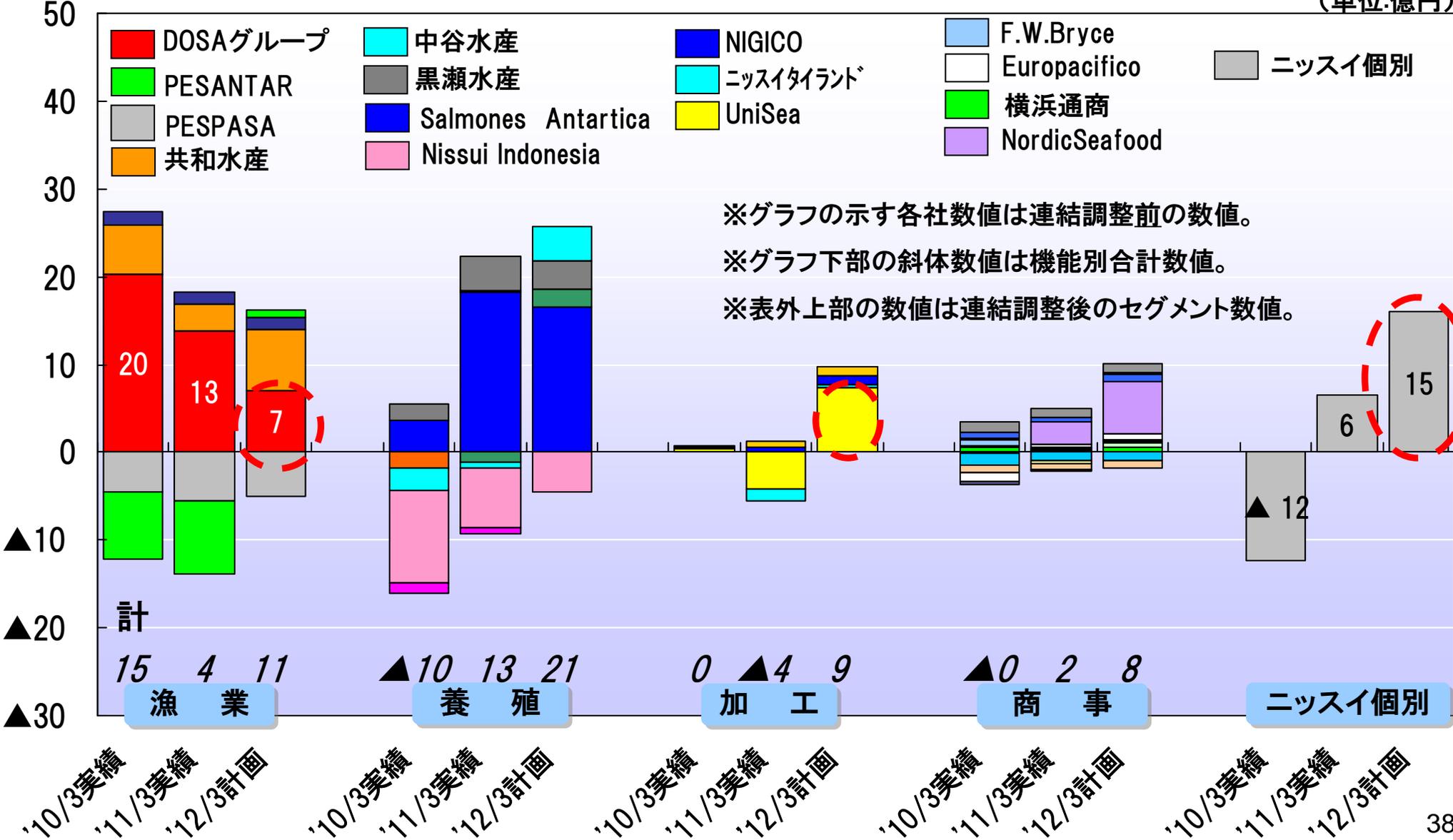
2012年3月期 見通し

水産 事業別会社別営業利益



10/3計 ▲23 11/3計 1 12/3計画計 45

(単位:億円)

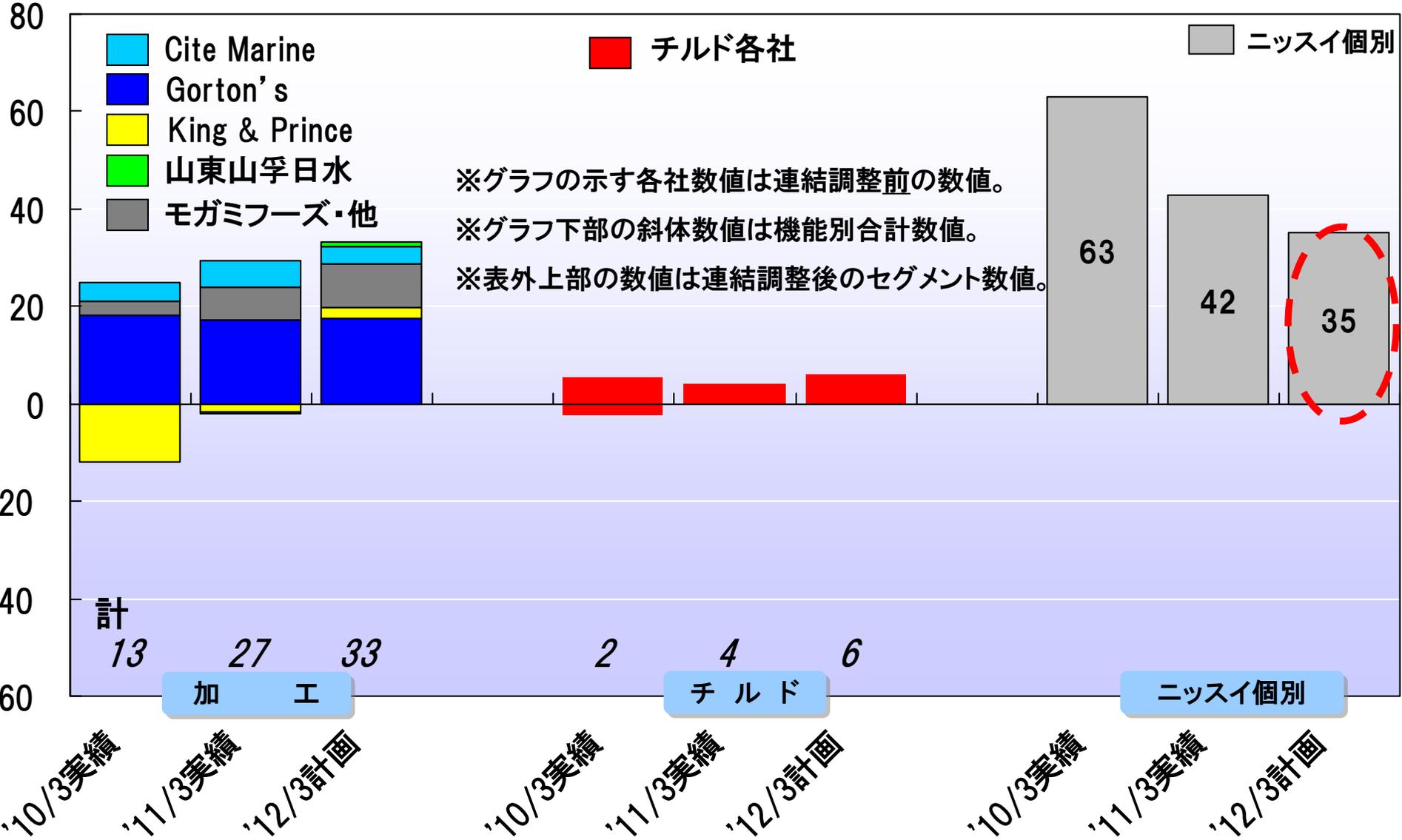


2012年3月期 見通し 食品 事業別会社別営業利益



10/3計 45 11/3計 42 12/3計画計 31

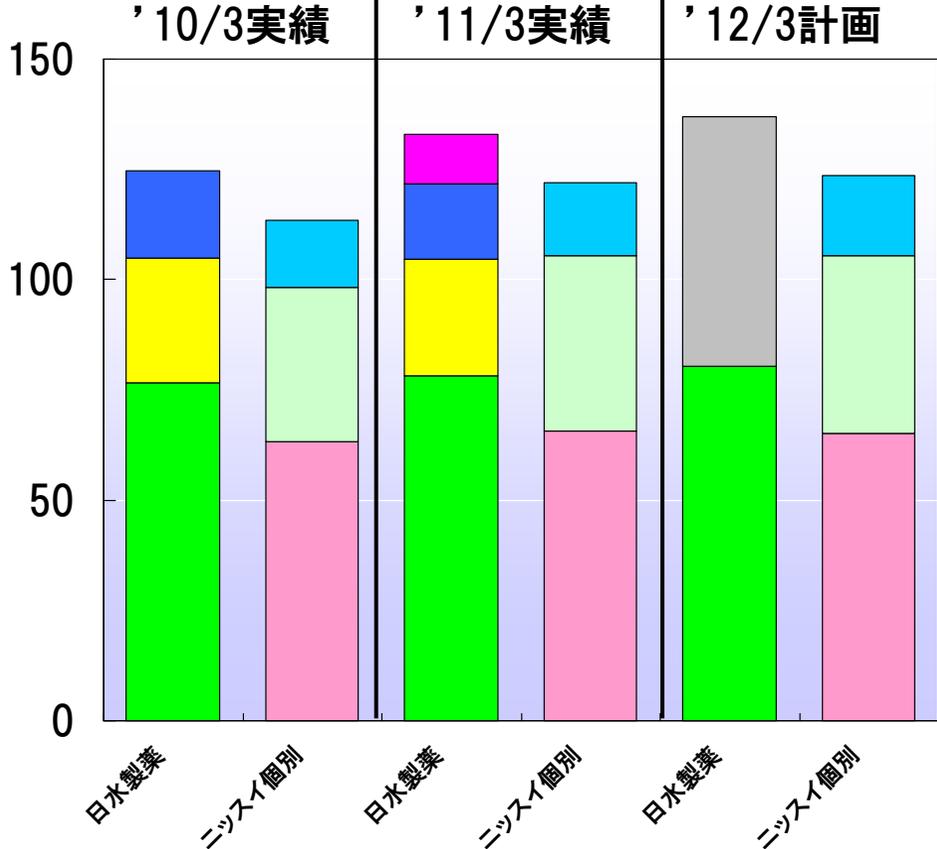
(単位:億円)



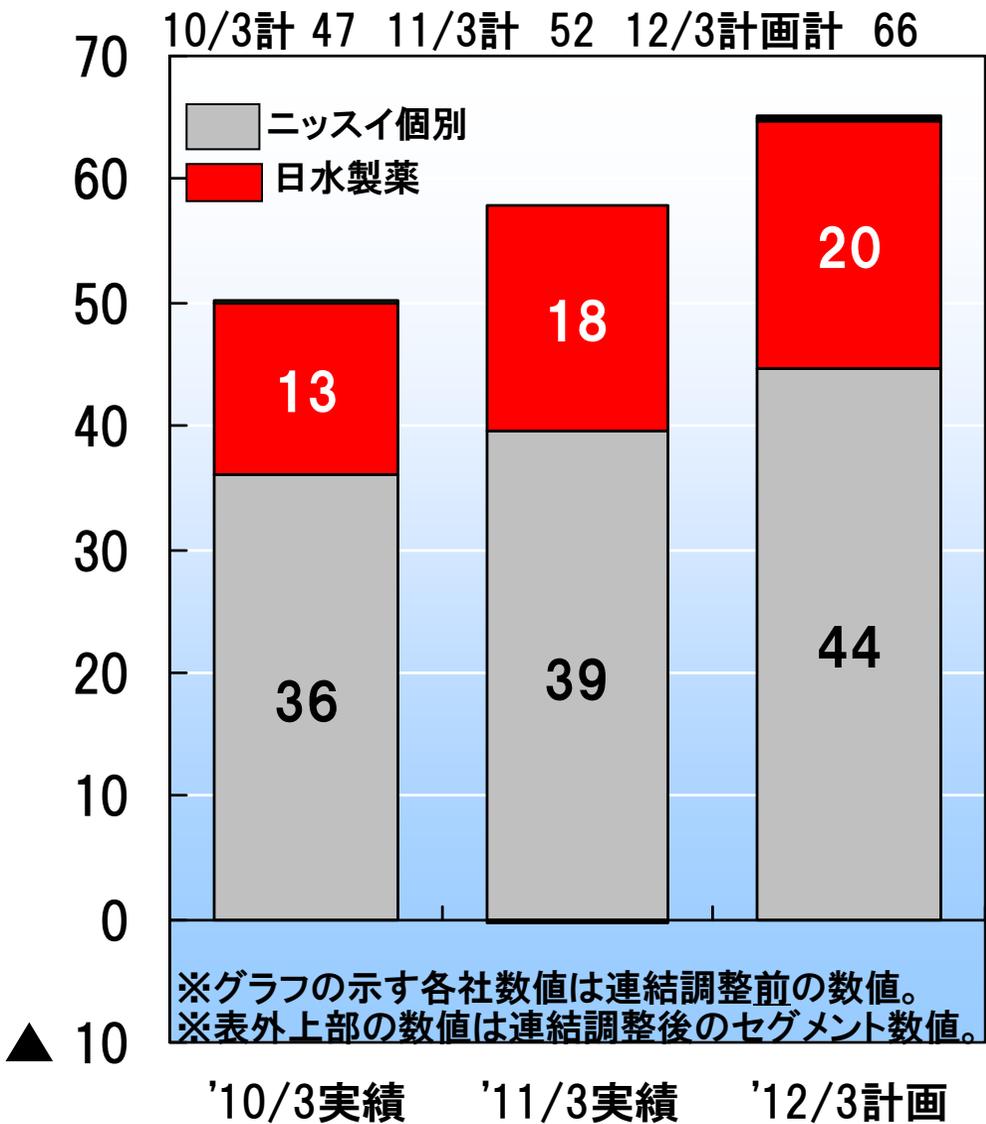
2012年3月期 見通し ファインケミカル 会社別売上高、営業利益



売上高 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



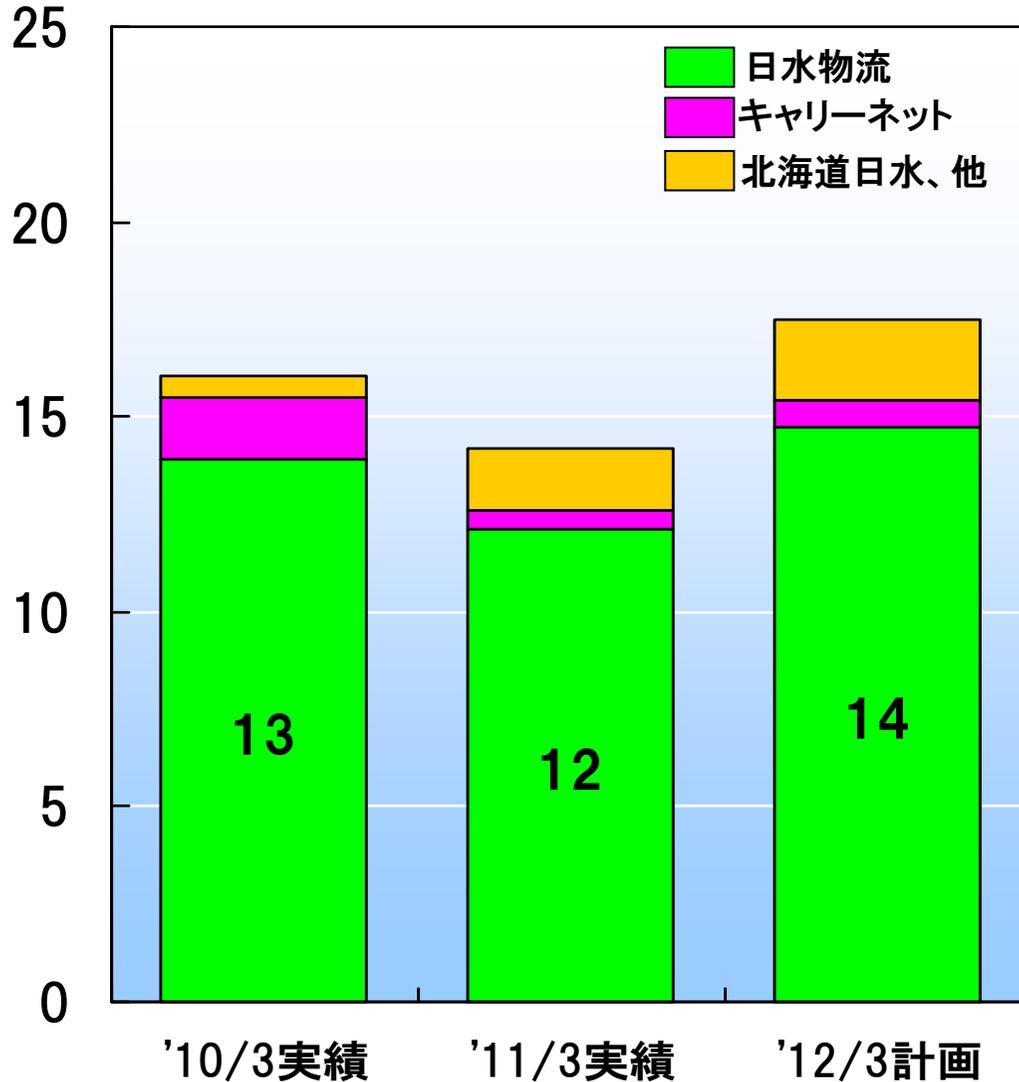
- ニッスイ個別**
- 機能性食品
 - 機能性原料
 - 医薬品原料
- 日本製薬**
- ※ 医薬事業(医薬品・健康食品・化粧品計)
 - 化粧品他
 - 健康食品他
 - 医薬品
 - 診断薬事業

※グラフの示す各社数値は連結調整前の数値。
※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。

※日本製薬の'12/3計画については診断薬事業と医薬事業の事業セグメントでの開示となります。

(単位:億円)

10/3計 17 11/3計 15 12/3計画計 17



※グラフの示す各社数値は連結調整前の数値。
※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社
2011年5月10日発表
証券コード：1332

お問合せ先：総務広報部広報課
03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

